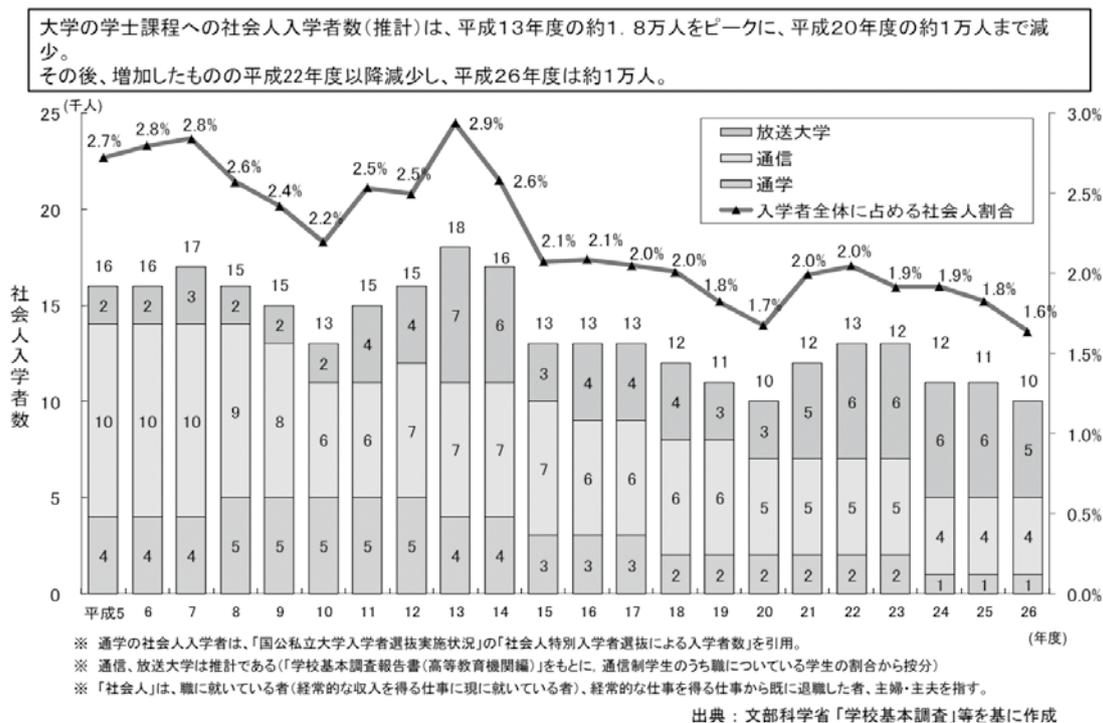


## 資料

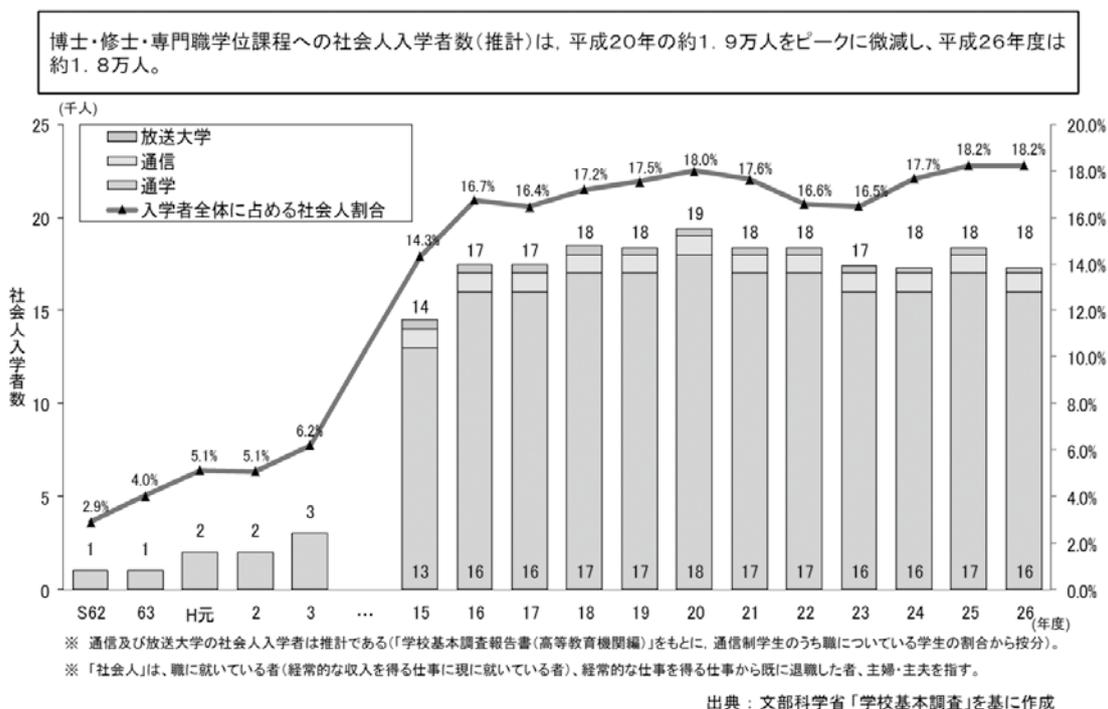
# 大学等への社会人入学者数の推移、25歳以上の高等教育機関への入学者割合(国際比較)

文部科学省「大学等における社会人の実践的・専門的な学び直しプログラムに関する検討会」資料より抜粋

### 社会人入学者数（推計）の推移（大学）

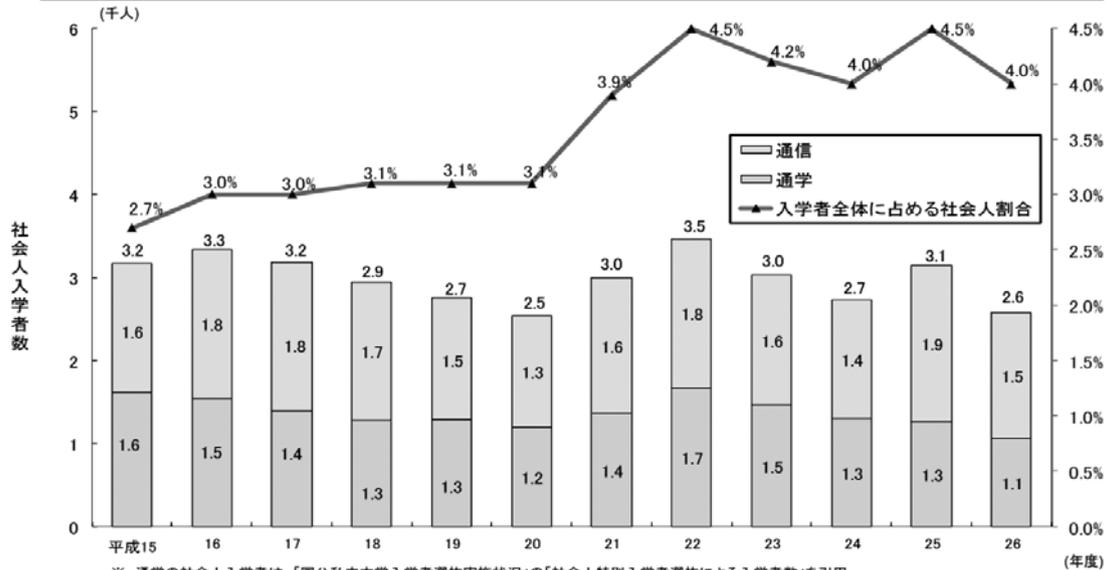


### 社会人入学者数（推計）の推移（大学院）



### 社会人入学者数（推計）の推移（短期大学）

短期大学士課程への社会人入学者数は平成16年度の約3,300人をピークに平成20年度の約2,500人まで減少。その後、増加・減少を繰り返し、平成26年度は約2,600人。



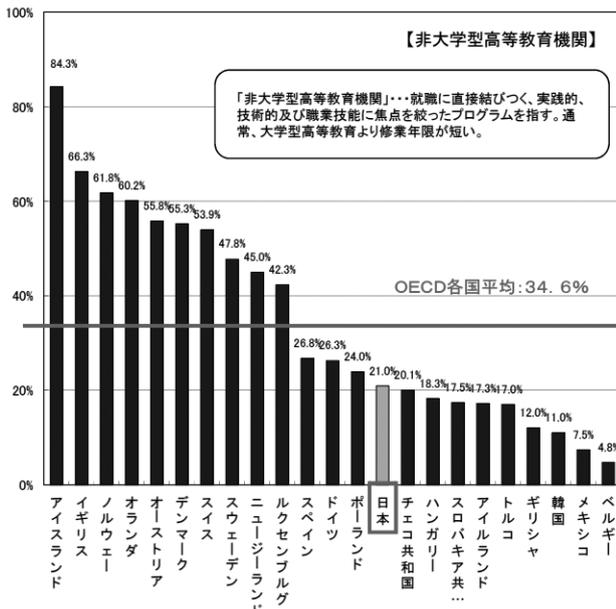
※ 通学の社会人入学者は、「国公立大学入学者選抜実施状況」の「社会人特別入学者選抜による入学者数」を引用。  
 ※ 通信の社会人入学者は推計である（「学校基本調査報告書（高等教育機関編）」をもとに、通信制学生のうち職についている学生の割合から推分）。  
 ※ 「社会人」は、職に就いている者（経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、主婦・主夫を指す。  
 出典：文部科学省「学校基本調査」等を基に作成

### 高等教育機関への進学における25歳以上の入学者の割合（国際比較）

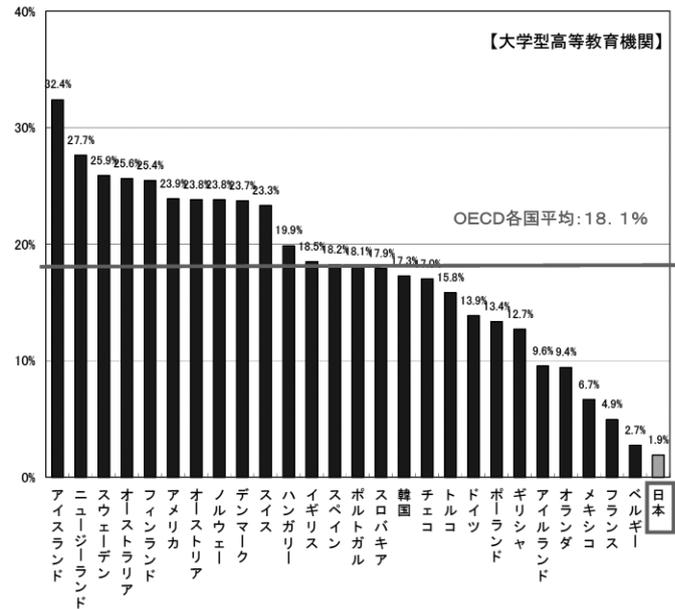
就業を目的とする高等教育機関への入学者のうち25歳以上の割合は、OECD各国平均約3.5割に達し、社会人学生も相当数含まれる一方、日本人の社会人学生比率は約21%と低い。

大学入学者のうち25歳以上の割合は、OECD各国平均約2割に達し、社会人学生も相当数含まれる一方、日本人の社会人学生比率は1.9%と低い。

#### 25歳以上の入学者の割合の国際比較（2012年）



出典：非大学型高等教育機関「OECD Stat Extracts (2012)」(日本の数値は「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学者数(短期大学及び専修学校(専門課程))



出典：大学型高等教育機関「OECD Stat Extracts (2012)」(日本の数値は「学校基本調査」と文部科学省調べによる社会人入学者数(4年制大学))